

本市教育委員会は、平成18年8月、「苫小牧市の特別支援教育推進のために」を策定し特別支援教育を推進してまいりましたが、特別な支援を必要とする児童生徒を取り巻く環境の変化や、特別な支援を要する児童生徒数の増加に伴う、「特別支援教育の質的向上」は本市においても喫緊の課題となっております。このため一人一人のニーズに対応した新しい時代の特別支援教育の在り方や、その充実のための方策等について整理すると共に、具体的に特別支援教育を推進するための基本方針を定めます。

## 苫小牧市特別支援教育基本方針の内容構成

### 1 本市における特別支援教育の現状と沿革

- ・市内特別支援学級の在籍数630名
- ・特別支援学級介添員（特別支援学級）26名配置
- ・特別支援教育支援員（通常の学級）45名配置 ※すべて令和4年5月1日現在

### 2 特別支援教育の推進に関する基本的な考え方

- ・理念「共に学ぶ 地域で育つ 苫小牧の子」
- ・障がいの有無に関わらず、多様性に応じ一人一人がその持てる力を発揮できる力を育む
- ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた「連続性のある多様な学びの場」の提供
- ・可能な限り地域で学ぶことを追求し、「適切な指導及び必要な支援」を行う

### 3 特別支援教育の充実に関する方策

#### ○小・中学校における支援の方策

- ・「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用し一貫した指導や支援を行う
- ・特別支援教育支援員や介添員の拡充による指導や支援の充実

#### ○教員の専門性向上に関する方策

- ・特別支援教育に関する各種研修の充実
- ・特別支援教育相談員による要請訪問事業の推進

#### ○一貫した支援に関する方策

- ・エリアで一貫して支援を行う体制の整備し「幼-小-中」、関係機関の連携を強化
- ・苫小牧市教育支援委員会による支援内容や学びの場の検討

#### ○交流及び共同学習に関する方策

- ・児童生徒の実態や目的に応じた「交流及び共同学習」や「居住地校交流」を推進

#### ○障がいの重度・重複化、多様化に関する方策

- ・看護師免許を持つ介添員等を配置し医療的ケアを必要とする児童生徒を支援
- ・道立支援学校、こども通園センターおおぞら園等との連携強化

#### ○施設設備等に関する方策

- ・各校施設の障がい者トイレの設置など、バリアフリー化を推進

